

3月3日（第2日）

3月3日(木)第2日 午前10時00分開議

出席議員

1番	浜 先 秀 二	2番	上 松 英 邦
3番	吉 野 伸 康	4番	山 本 秀 男
5番	大 石 秀 昭	6番	片 平 司
7番	沖 元 大 洋	8番	野 崎 剛 睦
9番	胡 子 雅 信	10番	林 久 光
11番	住 岡 淳 一	12番	山 根 啓 志
13番	登 地 靖 徳	14番	浜 西 金 満
15番	山 本 一 也	16番	新 家 勇 二
17番	山 木 信 勝	18番	扇 谷 照 義
20番	上 田 正		

欠席議員

なし

本会議に説明のため出席した者の職氏名

市長	田中 達美	副市長	正井 嘉明
教育長	万治 功	総務部長	土手 三生
市民生活部長	川寄 純司	福祉保健部長	徳永 信幸
産業部長	瀬戸本三郎	土木建築部長	幸野 潔
会計管理者	川尻 博文	教育次長	重川 忠道
消防長	岡野 教正	企業局長	今宮 正志
総務課長	浜村 晴司	財政課長	久保 和秀
企画振興課長	有馬 博之		

本会議に職務のため出席した者の職氏名

議会事務局長	玉井 栄藏
議会事務局次長	河下 巖

議事日程

日程第1	議案第33号	平成22年度江田島市一般会計補正予算(第7号)
日程第2	議案第34号	平成22年度江田島市国民健康保険特別会計補正予算(第4号)
日程第3	議案第35号	平成22年度江田島市老人保健特別会計補正予算(第1号)
日程第4	議案第36号	平成22年度江田島市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)
日程第5	議案第37号	平成22年度江田島市介護保険(保険事業勘定)特別

		会計補正予算（第3号）
日程第6	議案第38号	平成22年度江田島市介護保険（介護サービス事業勘定）特別会計補正予算（第1号）
日程第7	議案第39号	平成22年度江田島市港湾管理特別会計補正予算（第1号）
日程第8	議案第40号	平成22年度江田島市漁港管理特別会計補正予算（第1号）
日程第9	議案第41号	平成22年度江田島市公共下水道事業特別会計補正予算（第4号）
日程第10	議案第42号	平成22年度江田島市農業集落排水事業特別会計補正予算（第4号）
日程第11	議案第43号	平成22年度江田島市地域開発事業特別会計補正予算（第1号）
日程第12	議案第44号	平成22年度江田島市宿泊施設事業特別会計補正予算（第3号）
日程第13	議案第45号	平成22年度江田島市公共下水道事業（能美地区）会計補正予算（第5号）
日程第14	議案第46号	平成22年度江田島市交通船事業会計補正予算（第4号）
日程第15		市長施政方針
日程第16	議案第4号	平成23年度江田島市一般会計予算
日程第17	議案第5号	平成23年度江田島市国民健康保険特別会計予算
日程第18	議案第6号	平成23年度江田島市後期高齢者医療特別会計予算
日程第19	議案第7号	平成23年度江田島市介護保険（保険事業勘定）特別会計予算
日程第20	議案第8号	平成23年度江田島市介護保険（介護サービス事業勘定）特別会計予算
日程第21	議案第9号	平成23年度江田島市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算
日程第22	議案第10号	平成23年度江田島市港湾管理特別会計予算
日程第23	議案第11号	平成23年度江田島市地域開発事業特別会計予算
日程第24	議案第12号	平成23年度江田島市宿泊施設事業特別会計予算
日程第25	議案第13号	平成23年度江田島市下水道事業会計予算
日程第26	議案第14号	平成23年度江田島市交通船事業会計予算
日程第27	議案第15号	平成23年度江田島市水道事業会計予算

開会（開議） 午前 10 時 00 分

○議長（上田 正君） おはようございます。

ただいまの出席議員は 19 名です。

定足数に達しておりますので、ただいまから、平成 23 年第 2 回江田島市議会定例会 2 日目を開会します。

これから本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、あらかじめお手元に配布したとおりであります。

なお、本日は、報道関係者から、写真撮影等の申し出がありましたので、江田島市議会傍聴規則第 14 条の規定により、これを許可しましたので、報告をいたします。

日程第 1 議案第 33 号

○議長（上田 正君） 日程第 1、議案第 33 号「平成 22 年度江田島市一般会計補正予算（第 7 号）」を、を議題とします。

この際、議案の朗読は省略いたします。

直ちに、提出者から提案理由の説明を求めます。

田中市長。

○市長（田中達美君） 昨日に引き続いての定例会の 2 日目でございます。

大変ご苦労さんでございます。

また傍聴の方々には、早朝から傍聴においでいただきまして、大変ありがとうございます。

それでは、ただいま上程されました議案第 33 号「平成 22 年度江田島市一般会計補正予算（第 7 号）」でございます。

平成 22 年度江田島市の一般会計補正予算（第 7 号）は、次に定めるところによる。

歳入歳出予算の補正、第 1 条 歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ 1 億 550 万円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ 157 億 7,372 万 9,000 円とする。

第 2 項 歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、「第 1 表 歳入歳出予算補正」による。

繰越明許費、第 2 条 地方自治法第 213 条第 1 項の規定により、翌年度に繰り越して使用することができる経費は、「第 2 表 繰越明許費」による。

債務負担行為の補正、第 3 条 債務負担行為の変更は、「第 3 表 債務負担行為補正」による。

地方債の補正、第 4 条 地方債の追加、廃止及び変更は、「第 4 表 地方債補正」による。

内容につきましては、総務部長をして説明申し上げます。

よろしくお願いたします。

○議長（上田 正君） 土手総務部長。

○総務部長（土手三生君） 一般会計補正予算、第7号について、議案書2ページから6ページの第1表、歳入歳出予算補正により、今回の補正の主な点について説明させていただきます。

最初に、2ページの歳入からでございます。

1款市税は、5,200万円の減額計上です。その内訳は、1項市民税の個人が9,600万円の減額、法人が2,800万円の増額、固定資産税が1,600万円の増額となっております。

6款地方消費税交付金は1,735万4,000円の増額、これは額の確定によるものでございます。

10款地方交付税は、普通交付税の額確定によります2億9,447万9,000円の増額となりました。

12款分担金及び負担金は、920万2,000円の減額計上です。農地災害復旧費の分担金や、放課後児童クラブ保護者負担金の減に伴うものでございます。

13款使用料及び手数料は、1,221万円の減額計上です。墓地及び葬祭センター使用料が増となりましたものの、公営住宅使用料、し尿及び不燃ごみ投入手数料、消防保安検査手数料が減額となっております。

14款国庫支出金は、1,997万2,000円の減額計上です。増額分は、循環型社会形成推進交付金や住民生活に光をそそぐ交付金の増です。

減額の要因は、子ども手当交付金、地域住宅交付金、安全・安心な学校づくり交付金などの減額によるものです。

15款県支出金は、149万9,000円の減額計上です。各種補助事業の実績見込みによる減額でございます。

16款財産収入は、372万円の減額計上です。各基金利子の収入見込み減によるものです。

17款寄附金は、201万3,000円の増額計上です。ふるさと納税寄附金の増によるものです。

18款繰入金は、1,086万4,000円の増額計上です。このたび老人保健及び漁港管理特別会計の廃止に伴いまして、清算繰入金が一般会計の方へ繰り入れるということで増となっております。

20款諸収入は、280万7,000円の減額計上です。社会保険料個人徴収金及び消防団退職報償金の減が主なものでございます。

21款市債は、1億1,780万円の減額計上です。各種事業県負担金の事業見込みによる起債の減額となっております。

続いて、4ページからの歳出をご説明いたします。

まず、全体としまして、減額補正の主なものは、人件費につきまして、産休育休等の臨時職員や嘱託職員の実績見込みによる減額補正をそれぞれ各費目で行っております。

また、事務事業の執行見込みに伴う不用額や、工事請負費等の入札執行残の減額補

正を各費目で計上しております。

次に、増額補正の主なものは、江田島公民館の空調改修経費、住民生活に光をそそぐ交付金の増額に伴いまして、定住外国人むけ暮らしのガイドブック印刷、小・中学校及び図書館へ図書購入費を増額計上しております。

また、歳入歳出の差額6億2,713万6,000円を財政調整基金へ、ふるさと納税寄附金201万3,000円をふるさと応援基金に、それぞれ積み立てております。

以上が、主な歳出の減額・増額補正の内容でございます。

次に、7ページ、8ページをお願いいたします。

第2表 繰越明許費でございます。

主に、2月の臨時議会で補正議案を得ました、きめ細かな交付金及び住民生活に光をそそぐ交付金に係る事業の繰り越しをお願いしております。

続いて9ページ、第3表 債務負担行為補正として、防災行政無線統合デジタル化整備事業、第1期の限度額1億2,521万7,000円を1億3,150万7,000円に変更するお願いでございます。

次に、10、11ページをお願いいたします。

第4表 地方債補正として、追加3件、廃止2件及び起債限度額の変更13件をそれぞれ事業費見込みにより、お願いしております。

なお、59ページから123ページまでの歳入歳出補正予算事項別明細書として、124、125ページに給与費明細書を、126ページに地方債調書をお示ししております。

以上で説明を終わります。

○議長（上田 正君） これをもって、提案理由の説明を終わります。

これから質疑を行います。

質疑はありませんか。

山木議員。

○17番（山木信勝君） まず、7ページの繰越明許費についてであります。

地上デジタル放送対策事業ですね、この事業は、12月定例議会で補正予算したものであります。それで、1円もこの事業を使ってないということで繰り越されるといいますが、これは何か理由があったんでしょうか、お伺いいたします。

次に63ページの1番上の9,600万の減額補正であります。これは、予算の見込みが甘かったのか、また、退職者が特別多くなってこのように少なくなったのか、このへんどういった理由で減額になったのかお伺いいたします。

それから、下から2番目の普通交付税の2億9,447万9,000円ではありますが、これ増額補正であります。今までこれぐらいの増額がなかったんですがね、これどういった理由で、毎年これぐらいあればいいんですが、今年だけこのように多くあるのはなぜなのか、お伺いいたします。

それから67ページです。1番下から2番目の総務管理費補助金の中で、地域活力基盤創造交付金と社会資本整備総合交付金、この名前をなんか入れかえたんじゃないかと思うんですがね。私が12月定例で、この社会資本に変わったんじゃないかという質

間をしたんですが、これは変わらないということで直さなかったんですが、今になってまたどうしてこのように直すんですか。お伺いたします。

それから69ページの清掃費補助金の循環型社会形成推進交付金3,904万8,000円ありますが、この補助金は前処理施設で、汚物の処理をするための処理機をつけたら、こういう交付金がつくんじゃないんかと思うんですがね。しかしこういった、ここにパンフレットがあるんですが、含水率脱水システム、これは何億いうて高いんですがね。これをつけるのと補助金とどんなかねえ思うんですが、事業費が安くなるのかどうかお伺いたします。

それから71ページの1番上の住民生活に光をそそぐ交付金、これは全員協議会で全然説明なかったんですが、追加になったということで、図書購入費に使われるんですが、図書購入費以外に使う道はなかったのかどうかお伺いたします。

それから115ページの1番下の小学校施設整備事業ですね。これまでほとんど全部ですね、予算を執行してない状況なんです、これはなんか中町小学校の耐震認定で0.3以下になったからだめとかなんか言われたんですが、これは予算のときにわかるとるはずじゃが、何で執行できなかった理由をお伺いたします。

それから123ページの1番上の財政調整基金6億2,000万ありますが、これだけ基金に積み立てることができた理由は、地方交付税の3億弱の増額があったことと、ほかにはどうでしょうか、職員一人一人がね、経費を節減して、まあこれくらいできたということなのか、それから、執行できなかった事業があったのか、そのへんこの補正の総括で、ということで、この6億の積立ができた理由をお伺いたします。

以上です。

○議長（上田 正君） 有馬企画振興課長。

○企画振興課長（有馬博之君） 失礼します。

まず7ページ、地上デジタル放送の繰り越しの理由でございます。

これにつきましては、4地区、230世帯がほぼ確定したんですけれども、この世帯を確定させるのに時間がかかったこと、それから、組合を設置していただくといったことで、手続的な部分と、そういったことで時間がかかりまして、今年の7月の切り替えまでには必ず工事を完了するということが予定はしております。そういったことで、繰り越しとさせていただいたということでございます。

それから、71ページ、住民生活に光をそそぐ交付金の追加になったところでございますけれども、御指摘のとおりで図書購入に充てさせていただいております。2月補正のときからいいまして、国の方から、追加増額の連絡がございましたので、その枠を目いっぱい使えるようにということで、一応計画の範囲でふやすのはオーケーということでしたので、光をそそぐの中の図書購入を増やさせていただきました。

あと、新しく追加してもいいメニューの中に、外国人向けの、そういった事業であれば追加してもいいということがございましたので、今回の補正にあげております外国人向けの暮らしのガイドブックを作成する、そういったものも追加をさせていただいております。

私のところのは以上でございます。

○議長（上田 正君） 重川教育次長。

○教育次長（重川忠道君） 115ページの小学校施設整備事業費の件でございますけれども、これは、国のIS値が0.3以下の方針が出たのがですね、予算措置後でございます。それと本来なら補正で、国の補正で、また何らかの手当がということで、それを待っておったんですが、そういったことも、補正においても採択ができなかったということで、今回、中町小学校の屋体の地震補強と大規模改修を計画しておったんですが、採択されなかったということで、今回減額補正をさせていただきます。

○議長（上田 正君） 川寄市民生活部長。

○市民生活部長（川寄純司君） まず63ページの市税、個人の9,600万円の減額でございますけれども、この減額につきましては、当初の予算の見込みにつきまして、前年度参考に均等割1.5%、所得割2%の減額ということで計上してございましたけど、減額じゃない、減としてですね、計上してございましたけど、予想以上に、所得割分が見込みを下回ったということで、減額させていただいております。その他、年度内におけます修正とか、更正によります退職異動等がありますので、そこらも見込んでのことになっております。

それから、69ページ、衛生費国庫補助金、清掃費補助金の、循環型社会形成推進交付金3,904万8,000円の増額でございますけど、これ議員さんがいわれたようにですね、新しい新方式ですよ、ということで事業そのものが、脱水、希釈いうことで、その脱水した汚泥を助燃剤として再利用するというようなことで、この循環型の交付金がつくことになったんですけど、当初の計画よりは、これをもらったけえというても事業費の方はふえております。

以上です。

○議長（上田 正君） 久保財政課長。

○財政課長（久保和秀君） 63ページの普通交付税のご質問に対してお答えをいたします。

普通交付税の算定項目には、出るお金、入るお金の調整をして、お金をいただきよるわけですが、出るお金であります基準財政需要額が算定項目がふえたために1億2,000万円ふえたのと、新たに一つ、雇用対策とかのものがふえまして、それが8,300万円の増、それから、税の方の附則というか、税収が減ったものですから、それに対して1億5,000のプラス要素、本当は税のほうが減って、交付税のほうかふえたということで、大きくふえておるのが実情でありまして、来年度以降今年度23年度以降どうかということにつきましては、またそのときそのときの情勢がありますので、本日は不明でございます。

それから、67ページの地域活力から社会資本整備、さらにはですね、69ページにも、真ん中から下にやはり例えば道路橋りょう費補助金があるんですけども、この中にも、地域活力が社会資本整備とか、その下の住宅にもあるんですけども、先ほど、議員ご指摘というか、お話がありましたように、12月の補正時的时候には、私ども認識というかその確認不足ですね、そういうございました。それで議員からのお話をいただきまして、精査した結果、該当するものすべてにおいてこのたび補正予算該当があり

ましたので、この補正予算で名称とそれからそれぞれの増額、減額を記載させていただきました。誠に申しわけありませんでした。

それからもう1点、123ページ、財政調整基金に6億2,713万6,000円、これは主な理由は何かということがありましたけれども、交付税の増額要因が約4億近くあったのと、それから節約、職員一人一人の節約もありますし、また、年度途中で例えば、補正財源として使うというものでも、財調使う、使うこともあるんですけど、繰り越しが多かったことで、そこらも含めて、財調に積みさせていただくという形になりました。

以上です。

○議長（上田 正君） 山木議員。

○17番（山木信勝君） 先ほど69ページの循環型社会のことなんですが、補助金のことなんですが、こういった低含水率脱水システムいうんですかね。こういったものをつければ、こういった交付金というか補助金、交付金をもらえるということですが、この機械自体がね、何億するものでしょ。それでこれがあうのかどうかということを私聞きたいですよ、こういうものをつけて、何億するものをつけてね、補助金は入れますが多少のね、それであうのかどうかということを知りたいんですよ。つけずに、交付金も入らないけども、これを使わずにやった方が安くあがるのかどうか、ということを知りたいんです。

○議長（上田 正君） 川寄市民生活部長。

○市民生活部長（川寄純司君） つけずにいうことはですね、鹿川の水を一応使って、希釈して流すということにしていたんですけど、それじゃ濁水機に、その水で賄われないというようなことがおきまして、この装置をつけると、これにこれをつけて、希釈水を少なくして流そうということで、これをつけると、今計画している下水の方へ流すことができないということで、どうしてもこういう装置をつけさせていただきたいということです。

○議長（上田 正君） ほかにありませんか。

片平議員。

○6番（片平 司君） 101ページの労働費、緊急雇用創出事業費の2,500万円の減額と、103ページの農業振興ビジョン作成業務委託の減額、続いてその下の畑総整備事業費4,800万減額の理由を教えてくださいなんですが。

○議長（上田 正君） 瀬戸本産業部長。

○産業部長（瀬戸本三郎君） まず労働費の件でございますが、主だった労働費の部分は、訪問介護員等要請業務委託料が、約2,000万の大きく減額になってます。

これは、今現在5法人にですね、誠心福祉会あるいは社協、江能福祉会、大谷会、あるいはグループホームいこいの里でですね、16名当初、そういう訪問介護員養成をやろうと予算化したわけなんですけども、実際になかなか応募がないということがあったり、あるいは中途採用があったりして、現実には9名ということで、大きく差が生じることが主たる減額の理由です。

続きまして、農業振興ビジョンにつきましては、広島県が、このたび2020広島

県農林水産チャレンジプランというものも発表してきております。せっかくつくることにしたんですけど、広島県がどういう動向をするかによってですね、市もそれを受けて、これをより具体化していった方がいいだろうということで、今回は中止をしております。

続いて、畑総の件ですけれども、これは、あくまでも県事業に対する負担金です。国の予算等において、減額されたことによります減です。

○議長（上田 正君） 片平議員。

○6番（片平 司君） この緊急雇用創出の分ですけれども、要はこの訪問介護養成の人が応募がなかったということなんですかね。

○議長（上田 正君） 瀬戸本産業部長。

○産業部長（瀬戸本三郎君） 現実にはそういう要望が少ないという状況です。

○議長（上田 正君） ほかにありませんか。

野崎議員。

○8番（野崎剛睦君） 私は農林水産費が7,800万円減額されてると、それと土木費が1億3,800万円、これも減額補正されているということで、私、市民から聞くんですが、物を頼みにいうんか、要望しにいったら金がないと、金がないからできませんということを知りたんですけど、やはり農林にしろですね、やはり非常にどういうんですか、この島が農業のほうで荒れていると。

それと、災害でちょっと雨が降ると、非常に大きな被害がでるとということで、これは、人がいないからいふんですか、非常に忙しいから、こういう予算が執行できなかったのか、やはり各職員が知恵を出してですね、減額されたのか、そこらをお聞きしたいわけなんですけど、それで、農林水産費の農業費の7,200万減ってるわけなんですけど、これを説明していただきたい。

それと、土木費の道路橋りょう費1,700万減額されているわけです。それと、河川費が1,000万、港湾費が2,300万、都市計画費が6,000万減額されているわけです。これについて、どういうことで減額になったのかということをお説明願いたいわけなんですけど。

○議長（上田 正君） 瀬戸本産業部長。

○産業部長（瀬戸本三郎君） 農業振興費の7,200万円の主な原因は、先ほど言いましたように、畑総の県負担金が約5,000万円弱、これは大きくあります。

それと、先ほど言いました農業振興ビジョンの業務委託、あるいは、農道台帳の業務委託を中止しました。この農道台帳の理由につきましては、下水道がGISを入れているわけですけれども、これを平成23年度にシステムを変更するという情報も入っておりますもんで、せっかく今やっても、またシステムを変更された、またそこでむだなものがいるということで、まず下水道の方のシステムをどのようなのか、これを見ながらということで、今回の部分から落とすというようなことが主だった理由です。

○議長（上田 正君） 幸野土木建築部長。

○土木建築部長（幸野 潔君） 土木関係の減額につきましては、1番大きなのが国庫補助額の額の確定による減額とかですね、そういったものが最も大きいです。

といいますのが、土木費の中には県事業の負担金とかがありまして、その事業種別が国庫事業であるということです。

それとあと単独につきましては、入札残でございます。投資的経費について、入札残がございましたので減額しております。

以上です。

○議長（上田 正君） 野崎議員。

○8番（野崎剛睦君） それとあと1点なんですが、115ページのですね、学童の
いうか、生徒のバス定期代が150万ほど減額されているわけなんです、これはどう
いうことで減額されたんですか。見込みと違ったわけなんですか。

○議長（上田 正君） 重川教育次長。

○教育次長（重川忠道君） バスの通学児童・生徒の定期補助金の減で155万6,
000円の減でございますが、当初の生徒の見込み額より人数が少なかったと、人数減
による減額補正でございます。

○議長（上田 正君） ほかにありませんか。

新家議員。

○16番（新家勇二君） 私、文教厚生委員会に所属しているのですが、産業部等のこと
が、質問等ができないので、決算のときにですね。全体的なものを見てちょっと言わせ
てもらいたいんですが、予算全体は一般会計で増えてはおるんですが、工事請負費、物
品購入等々につきましては、もうほとんどは減額の補正で、以前も公共工事のあり方等
について、質疑をさせていただいて、最低制限価格にあるものについては、引き上げを
何%かはしてくれないだろうかというお願いをしたところですね、何%かは引き上げを
していただいたんですが、その後、あまり変わってないように見えるんですね。そこら
の、もう三角ばかり予算書見ると、そういうふうなことになってるんで、副市長が会長
で指名選定委員会を開かれとるんですよ。そこら、どのように変わってきたのか、ど
のように変えたのかちょっとお伺いします。

○議長（上田 正君） 正井副市長。

○副市長（正井嘉明君） 指名選定委員会は、数多く年間これまでももう20回を超
えて行っています。

1番大きなのはやはり、1点は、やはり随契は極力避けるということですね。13
0万以上の随契については、十分協議しながら、その主な理由を、チェックをするとい
うのが1番大きなこれまで改革した中身だったと思います。

それとあわせて、地元業者の、育成もかねて、なるべく地元の業者が、発注できる
ということをおきながら、中には、更新によっては、分離発注をしたり、いうこ
ともお願いしながら、地元の業者の育成に努めているという部分での指名業者の選定委
員会、あるいは指名願いが出た場合に、その指名願いの業者に対して、十分調査をして
持ちこたえられるかどうか、こういったこともあわせて、これまでも協議をした経緯が
ございます。

以上でございます。

○議長（上田 正君） 新家議員。

○16番（新家勇二君） 以前もしつこいように述べさせてもらったんですが、安かろう悪かろういうので、国交省等でも問題視して、いいものをきちんとやってもらう、ちゃんと労務費も払えるように、というような観点から、いろいろな策を練られていると思うんですよ。

そこらで、当市も、人口の減少率がもう県内でも、下から何番目かというようなところも、そこらの改善がされてないのも一つの要因ではないか。この町で、子供を産み育てていけない状況にあるのではなからうかと、私はいつもそれを懸念しておるところです。

交通問題等も含めてそういうのが、加味されて、今のこの現状があるとは思いますが、そこらにして、そこらのところを考慮してですね、もう再考するお考えはどうでしょうか。

○議長（上田 正君） 正井副市長。

○副市長（正井嘉明君） 指名業者の選定委員会では、あくまでも、先ほども言いましたように、大きなポイントとすれば、公共工事がですね、激減している。そういう中で地元業者に、少しでも仕事は、行き渡るようにということで、今回、年度途中でございましたけども、住宅のリニューアルですね、事業も新規で組んだと、こういったことは、今後前回は第6地連の総会がありましたけれども、本年度当初予算にも1,000万ほど、計上させていただいております。

非常にそういった面では、よくやっていただいているという評価もいただいておりますが、指名業者については、なるべく最低制限価格はですね、歩切りとか、こういったことについては、なるべく控えるようにと、いうことですね、担当者側の方からその工事内容も、概要もつぶさに聞いておりますけれども、そういったことも、査定に当たっては、私も、私のエリアと市長のエリア違いますけれども、お互いに連携をとりながら、指名業者についても十分行き渡るようになるべくはB、C、Dと、であればDも入れるような方法はないものだろうか、こういったようなことも配慮はしてですね、努力はして今後もしていきたいと、このように考えておりますので、ご理解をいただきたいと思っております。

以上でございます。

○議長（上田 正君） 新家議員。

○16番（新家勇二君） 3回目になりますので、全般的にですね、もう鉛筆1本から、この町に商店もまだ何店もあります。どんどん寂れてきております。ぜひともですね、なるべく、地元で消費していただけるように、お願いし、また、指名の件につきましても、地元の人ほとんどおらんような会社もあるんですね名前だけで、そういうようなところも、まだよく考えてですね、呉市などの場合でも、何名地元の人間がおるかによって、その査定を、点数づけをしたり、よくよく考えられてやってられるケースもあります。そういう自治体もあります。会社はあるんだけど、自分ところの地元の人間が何人で、よそから来よるところが何人かとかいうそこらまで考えられとる市町もありますので、よく考えられて、今後のためになるように検討していただきたいと要望して終わります。

○議長（上田 正君） 胡子議員。

○9番（胡子雅信君） 65ページなんですけども、使用料のところ、住宅使用料は現年度分が911万4,000円の減額ということなんですけど、これは当初の見込み予測間違いだったのか、もしくは途中で退去された方がいたのかということですね。

ちなみに公営住宅の全戸数と、今空いている戸数ですかね、空室率、これを教えていただければと思います。

それと、75ページで、寄附金ということでふるさと寄附金、これ何年か前はかなり注目を集め、全国的に集めた制度なんですけども、今回これ増額ということで、大変江田島市にとってもありがたいなところなんですけど、今年度これ何名の方が、この江田島市にですね、寄附していただいたのかなというところを教えていただければと思います。

○議長（上田 正君） 幸野土木建築部長。

○土木建築部長（幸野 潔君） 住宅使用料の減額についてですけれども、これは住宅使用料予算編成する際に、住宅使用料、家賃っていうのは、収入申告でもって、その収入によって額を決めていきます。そうした場合、予算編成時にですね、収入申告ない場合、近傍同種のアパートの家賃を設定します。ということで、このたびの当初の予算編成時にですね、収入申告がなかったんで、高目の収入を使用料を設定しておりましたので、それが収入申告によって、額を下げることによって減額となりました。

それと、申し訳ございません。

ちょっと今、住宅の戸数と空き家の関係ですけれども、これちょっと古い資料ですけども、平成20年度で恐縮ですけども、583戸ございますけれども、その内空き家が78戸というデータを今持っています。ちょっと今最新のデータがございませんで申しわけありません。

○議長（上田 正君） 久保財政課長。

○財政課長（久保和秀君） 75ページの真ん中にありますふるさと寄附金、予算額は201万3,000円なんですけれども、当初予算で1,000円ありましたので、今年度、何名の方から、幾らの寄附があったのかというご質問ですが、8名の方から201万4,000円の寄附がありまして、当初予算1,000円がありましたので、このたびは201万3,000円で合計201万4,000円を計上させていただきました。

○議長（上田 正君） 胡子議員。

○9番（胡子雅信君） 先ほどの住宅使用料ということで、当初いわゆる所得に応じて家賃が変わるので、その所得が確定したのでそれに合わせてということなんですけど、ちなみにこれ今、今年度3月もうぎりぎりのところなんですけども、入居者ですね、所得の、わかる、この時期に入居料確定、要はもともと高く見てたものを今回修正されたんですけども、修正のタイミングがちょっともう3月年度末ということなんで、ちょっと遅いのかという感じもしましてですね、実際その入居者のそういった家賃の確定は大体いつごろ決まるんでしょうか。

それとあと、ふるさと寄附金のことなんですけども、おそらくこれ島内ではなくて、

島外だと思うんですけども、およそ県内とその県外は割合でどんなののでしょうか、その点を教えていただければと思います。

○議長（上田 正君） 幸野土木建築部長。

○土木建築部長（幸野 潔君） 家賃の確定というのは、年度当初に家賃を決定します。収入申告を出していただいていますね。ただ、回収率とかいいますか、そういったものがございますので、減額の時期が遅れたものでございます。

○議長（上田 正君） 久保財政課長。

○財政課長（久保和秀君） 先ほどご質問がありました75ページのふるさと寄附金の寄附の内容なんですけれども、県内の方が6名で、192万4,000円、それから関東で東京の方がお1人で8万円、それから埼玉県の方が1名で1万円でございます。合計で201万4,000円なんですけれども、全体的なものでいきましたら、割合的には、関東方面と、県内の方が6割ぐらいで、総トータルでいきましたら4割ぐらいが県外の方というようなことでございます。

以上です。

○議長（上田 正君） ほかにありませんか。

（「なし」の声あり）

これで質疑を終わります。

これから討論を行います。

討論はありませんか。

（「なし」の声あり）

討論なしと認めます。

これから、議案第33号「平成22年度江田島市一般会計補正予算（第7号）」を、起立により採決します。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の諸君の起立を求めます。

（賛成者起立）

起立多数であります。

よって、本案は、原案のとおり可決されました。

日程第2 議案第34号

○議長（上田 正君） 日程第2、議案第34号「平成22年度江田島市国民健康保険特別会計補正予算（第4号）」を、議題とします。

この際、議案の朗読は省略いたします。

直ちに、提出者から提案理由の説明を求めます。

田中市長。

○市長（田中達美君） ただいま上程されました議案第34号「平成22年度江田島市国民健康保険特別会計補正予算（第4号）」でございます。

平成22年度江田島市の国民健康保険特別会計補正予算（第4号）は、次に定めるところによる。

歳入歳出予算の補正、第1条 歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ840万円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ41億6,384万5,000円とする。

第2項 歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、「第1表 歳入歳出予算補正」による。

内容につきましては、福祉保健部長をして説明申し上げます。

よろしく願いいたします。

○議長（上田 正君） 徳永福祉保健部長。

○福祉保健部長（徳永信幸君） 議案第34号の説明をします。

このたびの補正の主なものは、退職被保険者等の療養給付費と、高額療養費を増額補正するものです。

はじめに歳出の主なものについて説明します。

134ページ、135ページをお願いします。

中ほど、2款1項2目、退職被保険者等療養給付費2,000万円の増額補正。1番下、2目退職被保険者等高額療養費700万円の増額補正。いずれも見込み誤りのものです。

136ページ、137ページをお願いします。

中ほど、8款1項1目13委託料、特定健康診査委託料900万円の減額補正。これは、受診者が見込みにより少なかったために減額するものです。

1番下、1目13委託料、ジェネリック医薬品利用促進サービス委託料705万6,000円の減額補正。これはジェネリック粗悪通知事業を中止したために全額減額するものです。

次に、歳入の主なものについて説明します。

130ページ、131ページをお願いします。

1番上、1款1項1目1節、医療費給付費分現年課税分823万円の減額補正。これは所得が当初見込みより少なかったために、調定を減額するものです。

中ほど、4款2項1目2節特別調整交付金720万円の減額補正。これはジェネリック関連等の事業中止のため減額するものです。

その下、6款1項1目前期高齢者交付金1億円の増額補正。これは確定により増額するものです。

その下、7款1項1目2節保険財政共同安定化事業交付金7,080万円の減額補正。これは見込みにより減額するものです。

以上で説明を終わります。

○議長（上田 正君） これをもって、提案理由の説明を終わります。

これから質疑を行います。

質疑はありませんか。

片平議員。

○6番（片平 司君） ジェネリックの医薬品利用サービスを停止したんですか。理由は。

○議長（上田 正君） 徳永福祉保健部長。

○福祉保健部長（徳永信幸君） この中止の原因は、市内の医療機関、安芸地区医師会と佐伯地区医師会がございまして、その医師会の了解が得られなかったということで、このたびは中止したということでございます。

○議長（上田 正君） 片平議員。

○6番（片平 司君） 昨年じゃなかったかいね、広報かなんかでジェネリック薬品を使うようにいうふうななんかなかったかいね。あれは新聞に入っちゃったんかいなあ。あったと思うんじゃけど、ほいじゃけえジェネリックを使う方がそらええんじやろうとは思わんじやけども、ジェネリック医薬品を使うと病院が儲からんの、どっちが儲からんの、保険の方がだめなんか病院がだめなんか、よう分からんのじゃが。

○議長（上田 正君） 徳永福祉保健部長。

○福祉保健部長（徳永信幸君） 医療機関の先生方は安けりゃいいというもんじゃないと、ジェネリックと先発医薬品というのは、同一薬品ではないというのが原因らしいです。

以上です。

○議長（上田 正君） ほかにありませんか。

（「なし」の声あり）

質疑なしと認めます。

これで質疑を終わります。

これから討論を行います。

討論はありませんか。

（「なし」の声あり）

討論なしと認めます。

これから、議案第34号「平成22年度江田島市国民健康保険特別会計補正予算（第4号）」を、起立により採決します。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の諸君の起立を求めます。

（賛成者起立）

起立多数であります。

よって、本案は、原案のとおり可決されました。

日程第3 議案第35号

○議長（上田 正君） 日程第3、議案第35号「平成22年度江田島市老人保健特別会計補正予算（第1号）」を、議題といたします。

この際、議案の朗読は省略いたします。

直ちに、提出者から提案理由の説明を求めます。

田中市長。

○市長（田中達美君） ただいま上程されました議案第35号「平成22年度江田島市老人保健特別会計補正予算（第1号）」でございます。

平成22年度江田島市の老人保健特別会計補正予算（第1号）は、次に定めるところによる。

歳入歳出予算の補正、第1条 歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ978万6,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ1,328万6,000円とする。

第2項 歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、「第1表 歳入歳出予算補正」による。

内容につきましては、福祉保健部長をして説明申し上げます。

よろしく願いいたします。

○議長（上田 正君） 徳永福祉保健部長。

○福祉保健部長（徳永信幸君） 議案第35号の説明をします。

このたびの補正は、老人保健特別会計閉鎖による精算金を一般会計に繰り入れるために行うものです。

初めに、歳入の主なものについて説明します。

148ページ、149ページをお願いします。

1番上、5款1項1目1節、前年度繰越金978万9,000円の増額補正。これは、前年度繰越金が確定したためのものであります。

次に、歳出の主なものについて説明します。

152、153ページをお願いします。

中ほど、4款2項1目、一般会計繰出金1,112万3,000円の増額補正。これは精算金として一般会計に繰り入れするものです。

以上で説明を終わります。

○議長（上田 正君） これをもって、提案理由の説明を終わります。

これから質疑を行います。

質疑はありませんか。

（「なし」の声あり）

質疑なしと認めます。

これから討論を行います。

討論はありませんか。

（「なし」の声あり）

討論なしと認めます。

これから、議案第35号「平成22年度江田島市老人保健特別会計補正予算（第1号）」を、起立により採決します。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の諸君の起立を求めます。

（賛成者起立）

起立多数であります。

よって、本案は、原案のとおり可決されました。

日程第4 議案第36号

○議長（上田 正君） 日程第4、議案第36号「平成22年度江田島市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）」を、議題とします。

この際、議案の朗読は省略いたします。

直ちに、提出者から提案理由の説明を求めます。

田中市長。

○市長（田中達美君） ただいま上程されました議案第36号「平成22年度江田島市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）」でございます。

平成22年度江田島市の後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）は、次に定めるところによる。

歳入歳出予算の補正、第1条 歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ320万9,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ3億9,210万9,000円とする。

第2項 歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、「第1表 歳入歳出予算補正」による。

内容につきましては、福祉保健部長をして説明申し上げます。

よろしくお願いいたします。

○議長（上田 正君） 徳永福祉保健部長。

○福祉保健部長（徳永信幸君） 議案第36号の説明をします。

このたびの補正は、前年度繰越金の確定と、保険料の見込みによる減額を行うものです。

初めに、歳入について説明します。

158ページ、159ページをお願いします。

1番上、1款1項後期高齢者医療保険料の計、435万4,000円の減額補正。これは、見込みによる減額です。

その下、4款1項一般会計繰入金の計、343万1,000円の減額補正。これは確定によるものです。

1番下、5款1項1目、前年度繰越金1,099万4,000円の増額補正。これは前年度繰越金が確定したものでございます。

次に、歳出について説明します。

160、161ページをお願いします。

中ほど、2款1項1目、後期高齢者医療広域連合納付金514万1,000円の減額補正。これは保険料等が減額見込みになるためのものです。

差し引きした残額835万円を予備費として増額補正するものです。

以上で説明を終わります。

○議長（上田 正君） これをもって、提案理由の説明を終わります。

これから質疑を行います。

質疑はありませんか。

（「なし」の声あり）

質疑なしと認めます。
これから討論を行います。
討論はありませんか。

(「なし」の声あり)

討論なしと認めます。

これから、議案第36号「平成22年度江田島市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)」を、起立により採決します。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の諸君の起立を求めます。

(賛成者起立)

起立多数であります。

よって、本案は、原案のとおり可決されました。

日程第5 議案第37号

○議長(上田 正君) 日程第5、議案第37号「平成22年度江田島市介護保険(保険事業勘定)特別会計補正予算(第3号)」を、議題とします。

この際、議案の朗読は省略いたします。

直ちに、提出者から提案理由の説明を求めます。

田中市長。

○市長(田中達美君) ただいま上程されました議案第37号「平成22年度江田島市介護保険(保険事業勘定)特別会計補正予算(第3号)」でございます。

平成22年度江田島市の介護保険(保険事業勘定)特別会計補正予算(第3号)は、次に定めるところによる。

歳入歳出予算の補正、第1条 歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ456万円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ31億6,530万3,000円とする。

第2項 歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、「第1表 歳入歳出予算補正」による。

内容につきましては、福祉保健部長をして説明申し上げます。

よろしくお願いいたします。

○議長(上田 正君) 徳永福祉保健部長。

○福祉保健部長(徳永信幸君) 議案第37号の説明をします。

このたびの補正は、給付実績の見込みによる増減と、介護給付費交付金、平成21年度精算分を補正するものです。

初めに歳入の主なものについて説明します。

166、167ページをお願いします。

上から2段目、3款1項1目、介護給付費負担金100万円の増額補正。これは、介護給付費の負担割合の増減によるものです。

下から2段目、4款1項1目介護給付費交付金、過年度分393万9,000円の

増額補正。これは平成21年度精算分です。

1番下、5款1項1目介護給付費負担金100万円の減額補正。これは介護給付費の負担割合の増減によるものです。

168ページ、169ページをお願いします。

1番上、2節、過年度分239万6,000円の増額補正。これは平成21年度精算分です。

1番下、7款1項4目3節事務費繰入金、100万8,000円の減額補正。これは、認定審査会委員報酬減額のため減額するものです。

次に、歳出の主なものについて説明します。

170、171ページをお願いします。

上から2段目、2款1項1目、居宅介護サービス給付費1,800万円の増額補正。その下、3目地域密着型介護サービス給付費750万円の減額補正。その下、5目施設介護サービス給付費2,000万円の減額補正。174ページ、175ページをお願いします。一番上、2款5項1目、高額医療合算介護サービス費550万円の増額補正。その下、4款1項1目、介護給付費準備基金積立金633万8,000円の増額補正。以上のものは、いずれも給付実績の見込みにより増減するものです。

以上で説明を終わります。

○議長（上田 正君） これをもって、提案理由の説明を終わります。

これから質疑を行います。

質疑はありませんか。

片平議員。

○6番（片平 司君） 171ページの地域密着型介護サービス給付費の減額ですよね。これは地域密着型のサービスを受ける人が減ったのかどういふことなのか、そのへんをちょっと。

それとその後、施設介護サービス給付費2,000万の減額は、これは施設介護サービス給付じゃから施設に入る人が減ったんですか。

○議長（上田 正君） 徳永福祉保健部長。

○福祉保健部長（徳永信幸君） いずれもですね、うちの見込みより少なかったというものでございます。

○議長（上田 正君） ほかにありませんか。

（「なし」の声あり）

質疑なしと認めます。

これから討論を行います。

討論はありませんか。

（「なし」の声あり）

討論なしと認めます。

これから、議案第37号「平成22年度江田島市介護保険（保険事業勘定）特別会計補正予算（第3号）」を、起立により採決します。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の諸君の起立を求めます。

(賛成者起立)

起立多数であります。

よって、本案は、原案のとおり可決されました。

日程第6 議案第38号

○議長（上田 正君） 日程第6、議案第38号「平成22年度江田島市介護保険（介護サービス事業勘定）特別会計補正予算（第1号）」を、議題とします。

この際、議案の朗読は省略いたします。

直ちに、提出者から提案理由の説明を求めます。

田中市長。

○市長（田中達美君） ただいま上程されました議案第38号「平成22年度江田島市介護保険（介護サービス事業勘定）特別会計補正予算（第1号）」でございます。

平成22年度江田島市の介護保険（介護サービス事業勘定）特別会計補正予算（第1号）は、次に定めるところによる。

歳入歳出予算の補正、第1条 歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ50万円を減額し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ1,720万円とする。

第2項 歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、「第1表 歳入歳出予算補正」による。

内容につきましては、福祉保健部長をして説明申し上げます。

よろしくお願いいたします。

○議長（上田 正君） 徳永福祉保健部長。

○福祉保健部長（徳永信幸君） 議案第38号の説明をします。

このたびの補正は、実績見込みにより補正をするものです。

初めに歳出について説明します。

186、187ページをお願いします。

1款1項1目1節報酬、介護支援専門員報酬50万円の減額補正。これは介護支援専門員の採用が4月予定をしていましたけれども、11月になったために減額するものでございます。

次に、歳入について説明します。

184、185ページをお願いします。

1款1項1目1節、介護予防サービス計画費収入50万円の減額補正。これは介護支援専門員の中途採用の実績見込みにより減額するものでございます。

以上で説明を終わります。

○議長（上田 正君） これをもって、提案理由の説明を終わります。

これから質疑を行います。

質疑はありませんか。

(「なし」の声あり)

質疑なしと認めます。

これから討論を行います。

討論はありませんか。

(「なし」の声あり)

討論なしと認めます。

これから、議案第38号「平成22年度江田島市介護保険（介護サービス事業勘定）特別会計補正予算（第1号）」を、起立により採決します。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の諸君の起立を求めます。

(賛成者起立)

起立多数であります。

よって、本案は、原案のとおり可決されました。

暫時休憩とします。

10分ほど休憩します。

11時25分までお願いします。

(休憩 11時14分)

(再開 11時27分)

○議長（上田 正君） 休憩を解いて、会議を再開します。

日程第7 議案第39号

○議長（上田 正君） 日程第7、議案第39号「平成22年度江田島市港湾管理特別会計補正予算（第1号）」を、議題といたします。

この際、議案の朗読は省略いたします。

直ちに、提出者から提案理由の説明を求めます。

田中市長。

○市長（田中達美君） ただいま上程されました議案第39号「平成22年度江田島市港湾管理特別会計補正予算（第1号）」でございます。

平成22年度江田島市の港湾管理特別会計補正予算（第1号）は、次に定めるところによる。

歳入歳出予算の補正、第1条 歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ180万円を減額し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ3,960万円とする。

第2項 歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、「第1表 歳入歳出予算補正」による。

内容につきましては、土木建築部長をして説明申し上げます。

よろしく願いいたします。

○議長（上田 正君） 幸野土木建築部長。

○土木建築部長（幸野 潔君） 議案第39号について説明いたします。

次ページ34ページをお願いします。

歳入につきまして、海上交通の航路の社会実験運航に伴いまして、宇品・中田港間のフェリー休止や、小用港、秋月、呉港の旅客船の減便によりまして、栈橋の使用料が

減額となります。

この歳入減額180万円に対しまして、右ページのとおり、港湾施設の修繕等の港湾管理費の節減により対応し、同額を減額するものでございます。

以上で説明を終わります。

○議長（上田 正君） これをもって、提案理由の説明を終わります。

これから質疑を行います。

質疑はありませんか。

（「なし」の声あり）

質疑なしと認めます。

これから討論を行います。

討論はありませんか。

（「なし」の声あり）

討論なしと認めます。

これから、議案第39号「平成22年度江田島市港湾管理特別会計補正予算（第1号）」を、起立により採決します。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の諸君の起立を求めます。

（賛成者起立）

起立多数であります。

よって、本案は、原案のとおり可決されました。

日程第8 議案第40号

○議長（上田 正君） 日程第8、議案第40号「平成22年度江田島市漁港管理特別会計補正予算（第1号）」を、議題といたします。

この際、議案の朗読は省略いたします。

直ちに、提出者から提案理由の説明を求めます。

田中市長。

○市長（田中達美君） ただいま上程されました議案第40号「平成22年度江田島市漁港管理特別会計補正予算（第1号）」でございます。

平成22年度江田島市の漁港管理特別会計補正予算（第1号）は、次に定めるところによる。

歳入歳出予算の補正、第1条 歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ464万8,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ1,044万8,000円とする。

第2項 歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、「第1表 歳入歳出予算補正」による。

内容につきましては、産業部長をして説明申し上げます。

よろしく願いいたします。

○議長（上田 正君） 瀬戸本産業部長。

○産業部長（瀬戸本三郎君） 議案第40号、江田島市漁港管理特別会計補正予算（第1号）について説明します。

このたびの補正は、漁港管理特別会計の閉鎖に伴い、精算により補正するものです。歳入38ページをお開きください。

歳入として使用料及び手数料5,000円の増額。

繰越金を464万3,000円増額。これは前年度繰越金の確定によるものです。

39ページに、歳出として港湾管理費を464万8,000円の増額をしております。

なお、624万1,000円を一般会計繰り出すものとしております。

以上で説明を終わります。

○議長（上田 正君） これをもって、提案理由の説明を終わります。

これから質疑を行います。

質疑はありませんか。

（「なし」の声あり）

質疑なしと認めます。

これから討論を行います。

討論はありませんか。

（「なし」の声あり）

討論なしと認めます。

これから、議案第40号「平成22年度江田島市漁港管理特別会計補正予算（第1号）」を、起立により採決します。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の諸君の起立を求めます。

（賛成者起立）

起立多数であります。

よって、本案は、原案のとおり可決されました。

日程第9 議案第41号

○議長（上田 正君） 日程第9、議案第41号「平成22年度江田島市公共下水道事業特別会計補正予算（第4号）」を、議題とします。

この際、議案の朗読は省略いたします。

直ちに、提出者から提案理由の説明を求めます。

田中市長。

○市長（田中達美君） ただいま上程されました議案第41号「平成22年度江田島市公共下水道事業特別会計補正予算（第4号）」でございます。

平成22年度江田島市の公共下水道事業特別会計補正予算（第4号）は、次に定めるところによる。

歳入歳出予算の補正、第1条 歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ3,187万1,000円を減額し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ9億4,599万

9, 000円とする。

第2項 歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、「第1表 歳入歳出予算補正」による。

繰越明許費、第2条 地方自治法第213条第1項の規定により、翌年度に繰り越して使用することができる経費は、「第2表 繰越明許費」による。

地方債の補正、第3条 地方債の変更は、「第3表 地方債補正」による。

内容につきましては、土木建築部長をして説明申し上げます。

よろしくお願いいたします。

○議長（上田 正君） 幸野土木建築部長。

○土木建築部長（幸野 潔君） 議案第41号について説明いたします。

次ページをお開きください。

歳入にかかるものでございます。

第1款分担金及び負担金、これは下水道の分だけについては3年以内に、賦課して3年以内に納付してもらうものですが、見込みよりも一括納付が多く、また、滞納繰越分の徴収が見込みよりも多かったことから、371万9,000円増額補正します。

第2款使用料及び手数料につきましては、滞納に係る督促手数料等の収入が見込みよりも多かったことから、2万8,000円増額します。

第3款国庫支出金は、国からの補助金の額の確定による減額でございます。

第4款繰入金は、工事費等の減額による歳出削減に伴い、3,611万8,000円減額します。

第7款市債は、平成22年度から国庫補助事業に伴う事務費が、補助対象外となったことによりまして、財源調整により80万円の増額補正をいたします。

次に次ページ、43ページでございます。

歳出でございますけれども、第1款総務費について、下水道浄化センターの光熱費の減額や委託業務の執行残により1,143万1,000円減額します。

次に第2款事業費についても、下水道の工事費委託費の執行残の処理で1,944万円を減額します。

第3款公債費は、市債の利子償還金が、借入見込額の減少により100万円の減額となるものです。

次ページ、44ページをお願いします。

繰越明許費を2,600万円計上します。これは、下水道事業団に委託し進めております大柿の浄化センターの水処理施設の増設工事が、低価格入札となり、落札者の決定の審査に時間を要し、工事に遅れが生じ、予算の一部を繰り越すものです。

次に、次ページ、第3表の地方債補正ですが、これは歳出で説明しましたとおり、市債80万円の増額に伴い、下水道事業債の限度額を増額補正するものでございます。

以上で説明を終わります。

○議長（上田 正君） これをもって、提案理由の説明を終わります。

これから質疑を行います。

質疑はありませんか。

(「なし」の声あり)

質疑なしと認めます。
これから討論を行います。
討論はありませんか。

(「なし」の声あり)

討論なしと認めます。
これから、議案第41号「平成22年度江田島市公共下水道事業特別会計補正予算(第4号)」を、起立により採決します。
本案は、原案のとおり決定することに賛成の諸君の起立を求めます。

(賛成者起立)

起立多数であります。
よって、本案は、原案のとおり可決されました。

日程第10 議案第42号

○議長(上田 正君) 日程第10、議案第42号「平成22年度江田島市農業集落排水事業特別会計補正予算(第4号)」を、議題とします。

この際、議案の朗読は省略いたします。
直ちに、提出者から提案理由の説明を求めます。
田中市長。

○市長(田中達美君) ただいま上程されました議案第42号「平成22年度江田島市農業集落排水事業特別会計補正予算(第4号)」でございます。

平成22年度江田島市の農業集落排水事業特別会計補正予算(第4号)は、次に定めるところによる。

歳入歳出予算の補正、第1条 歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ461万6,000円を減額し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ1億2,488万4,000円とする。

第2項 歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、「第1表 歳入歳出予算補正」による。

内容につきましては、土木建築部長をして説明申し上げます。
よろしくお願いいたします。

○議長(上田 正君) 幸野土木建築部長。

○土木建築部長(幸野 潔君) 議案第42号について説明いたします。

次ページ、48ページをお願いいたします。

歳入につきまして、沖美地区の受益者分担金が見込みよりも156万5,000円減額となりまして、一方で、右ページの歳出が461万6,000円減額となることから、第3款繰入金を305万1,000円減額し、収支調整します。

右ページ歳出は、下水道浄化センターの委託業務等の執行残により、461万6,000円の減額補正でございます。

第2款の公債費は、額の補正はございませんが、分担金の減額を繰入金で調整する財源更正を行っております。

以上で説明を終わります。

○議長（上田 正君） これをもって、提案理由の説明を終わります。

これから質疑を行います。

質疑はありませんか。

（「なし」の声あり）

質疑なしと認めます。

これから討論を行います。

討論はありませんか。

（「なし」の声あり）

討論なしと認めます。

これから、議案第42号「平成22年度江田島市農業集落排水事業特別会計補正予算（第4号）」を、起立により採決します。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の諸君の起立を求めます。

（賛成者起立）

起立多数であります。

よって、本案は、原案のとおり可決されました。

日程第11 議案第43号

○議長（上田 正君） 日程第11、議案第43号「平成22年度江田島市地域開発事業特別会計補正予算（第1号）」を、議題とします。

この際、議案の朗読は省略いたします。

直ちに、提出者から提案理由の説明を求めます。

田中市長。

○市長（田中達美君） ただいま上程されました議案第43号「平成22年度江田島市地域開発事業特別会計補正予算（第1号）」でございます。

平成22年度江田島市の地域開発事業特別会計補正予算（第1号）は、次に定めるところによる。

歳入歳出予算の補正、第1条 歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ788万1,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ3,168万1,000円とする。

第2項 歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は「第1表 歳入歳出予算補正」による。

内容につきましては、土木建築部長をして説明申し上げます。

よろしく願いいたします。

○議長（上田 正君） 幸野土木建築部長。

○土木建築部長（幸野 潔君） 議案第43号について説明いたします。

次ページ、52ページをお開きください。

歳入にかかるものでございます。

江田島町小用1丁目のアカハ子地区において宅地分譲を進めております「みなと夢団地しおかぜの丘」におきまして、本年度1区画の分譲を見込んでおりましたが、さらに1区画の分譲が見込まれることとなりましたので、1款財産収入を788万1,000円増額します。

またひとつ飛んで、3款繰越金を決算確定によりまして、2万7,000円増額し、第2款繰入金と同額減額補正いたします。

次ページ、53ページの歳出でございますが、これは、追加の分譲収入788万1,000円を市債元金償還に充当するものでございます。

以上で説明を終わります。

○議長（上田 正君） これをもって、提案理由の説明を終わります。

これから質疑を行います。

質疑はありませんか。

山木議員。

○17番（山木信勝君） 小用港開発についてお伺いするんですが、今般のこのしおかぜの団地が1区画売れたということではありますが、まだ6億2,000万ぐらいの、借入が残ってるわけですよ。それで、江田島町時代、最初のころはもうこの土地とか、西ノ谷、ウシイシ、横撫と、こういったところを土地売りまして、あのころ7億8,000万ぐらいあったんですかね。それで全部返すんだということだったんですが、西ノ谷なんかはまだだいぶ残ってますよね。それとウシイシ地区、あれはどうされるんでしょうか、あそこも団地になる予定なんですが。それとしおかぜの、今の残はどれぐらいあるのか。もうこの借り入れどのようにするんか、もう方向性をつけんにゃいけん思うんですよ。

それと、小用港開発の進捗状況、19年にはもう完成しとらんにゃいけんかったんですよ。だいぶ遅れとるようですがね。

そのへんをお伺いいたします。

○議長（上田 正君） 幸野土木建築部長。

○土木建築部長（幸野 潔君） まず、分譲の区画で未分譲のところを報告いたしますと、アカハ子地区で7区画、これが約6,000万円程度。西ノ谷で5区画、これも約1億程度でございます。それと横撫地区でも約5億程度でございます。

これの今後の進め方ですけれども、これまで民間の住宅メーカーの協力を得まして、分譲促進に努めてまいりましたが、その専門家であります住宅メーカーの、意見を聞きながら、また土地価格、土地地価の減少もございますので、例えば、分譲価格の見直しとか、もしくは、今これまで住宅メーカーの協力を得ながらやっておりましたが、今後も引き続き、また協力を得るか、そういった取り組みとか、さらに横撫地区につきましても、土地利用の宅地分譲でなくて、土地利用また返還、見直ししまして、より利活用できる方法を検討中でございます。

それと、ウシイシ地区の港湾の関係の進捗状況でよろしいでしょうか。

これにつきましては、確かにおっしゃるとおり、これは県の港湾部局、それから道路部局、それと市と、三者です、19年度の完成ということで、当初は進めてまいりましたけれども、なにぶん、港湾、道路の、事業費が随分見込みよりも多くなってきているところもございまして、なおかつ予算の答申の限りがございますので、進捗が遅れているところもございまして。進捗率のパーセント的なものは、ちょっと今手元にはございませんが、今後、まず、あそこの江田島の造船所の用地買収というのが、だいたい23年度に完了見込みです。24年度から今度はその以外のカキ屋さんとか、そういったところの用地買収に入っていくこととなります。といったぐらいのことしか今ちょっと手元にはございませんので、なかなかしゃべれないですけども、よろしいでしょうか。

○議長（上田 正君） 山木議員。

○17番（山木信勝君） 今のそよかぜがあと7区画、これ700万にしても5,000万近いもんくらいかならんですよね。それから、西ノ谷、あれは2,000万ぐらいで出しとるんですかね。あれもそのまま売れたとしても、1億ですか。そうすると1億5,000万くらいかならんですよ。それからウシイシ地区、あそこも団地にする予定じゃないんですか。変わったんですか、これは。団地で売るというて書いとるよ初めから、このパンフレットには。予定じゃったですがね、そのごろ。

それから進捗状況からいいますと、今のウシイシ地区の漁業者のところ、二十四、五年度ぐらいで工事やられるいわれたんですかね。それやっても先ですよ、ゴルフの打ちっぱなし場があるんですが、あのへんまでが小用港開発なんですよ。あのへんは全然手をつけてないじゃないですか、いつやるんですかあれを。

お伺いします。

○議長（上田 正君） 幸野土木建築部長。

○土木建築部長（幸野 潔君） 当初、ウシイシ地区、アカハ子地区、西ノ谷地区、この3地区について、住宅地の開発ということで進めてまいりましたが、昨年度、宅地分譲の見込みが非常に需要が落ちているということからですね、宅地分譲はアカハ子地区と西ノ谷地区、このたび残りのウシイシ地区については宅地ではなくて、例えば水産振興用地とか、そういったものに土地利用の変更を考えるよう事業の再評価という制度でございますけども、事業の再評価制度、委員会の中でも、そういった説明をさせていただきました。

それと、ゴルフの打ちっぱなし場あたりまでの話でございますけども、まず、道路事業も5カ年計画とか、そういった計画をつくって、段階的に進めておりまして、今現在まずはウシイシ地区、ですから、ゴルフ場よりも、もうひとつこの手前の方までの地区までをですね、まずは一つの工事計画案として進めているところでございます。

以上です。

○議長（上田 正君） 山木議員。

○17番（山木信勝君） どんどん変更変更で、どうなるかねえこれは。

ほいじゃ今のウシイシのところも団地こしらえずに、お金にしないいうんかね。何をされるんです、ほいじゃあそこを。売らんいうのなら。しっかりしてくださいやあんたら。さっぱりわからんじゃない。

○議長（上田 正君） 幸野土木建築部長。

○土木建築部長（幸野 潔君） もともと宅地分譲の計画をつくりましたのは、隣接する国道487の道路改良の移転用地を地元がつくっていかなくてはいけないということと、もう一つは、小用地区の住環境、これを改善したいという、二つの大きな目的がありました。

そうした中で、宅地分譲につきましては、まず移転、家屋がある程度いってもう落ち着いてしまいましたんで、需要そのものが落ちているというところから、宅地計画の縮小をせざるを得ないというところから、事業の再評価の、委員会でも、そういった説明をさしていただきました。

それと、ウシイシ地区の背後の、江田島造船の跡地の利用でございますけども、そこについては、今まだ確定はしておりませんが、カキの加工場用地とか、現在の江田島市に加工場がございますので、そういった、カキの加工場を視野に入れながら、跡地利用を見直しているところでございます。

以上です。

○議長（上田 正君） 田中市長。

○市長（田中達美君） ちょっと補足の説明をさせていただきます。

私らより議員さんのほうがよくあそこの小用開発については、私らよりよくご存じじゃないかと思えますけれども、始まったときからいいますと、もう20年近くの年数がかかっております。

さらに、全体計画が終了するのは、もうこれから10年ぐらいかかるそうです。

1番顕著な変化というのは、地価の暴落いうんですか、地価が半分から3分の1近くにあの周辺が下がっております。

当然、そういう住宅移転用の用地として計画したところがですね、土地がありますから、住宅用地として計画をこれからもそのままつっぱることもできますけども、これは当然、特別会計の中で全体でいいますと、最終的な一般会計でも補いをつけてですね、特別会計閉鎖するしかない状態になつとります。

全体的な特別会計のことについては、新年度4月をこえましたら、できるだけ早い時期に、現在の特別会計の中身について、議会の皆さんには説明をしたいというように思っております。

というのは、ちょっと先ばしりになるかもわかりませんが、一般会計から繰り入れせんかぎりには、この特別会計は閉められない状況なつとるわけです。

それはなにかというと、土地が当初の値段の3分の1ぐらいになって、仮に売れたとしても、その差額の分だけ、何億というお金が足りない状況になりますから、その分だけ一般会計から当然繰り入れんと、特別会計閉められません。

おおよそ議員さんも、そういった仕事をされておるんでわかると思えますけれども、平成28年度じゃったと思うんですが、6億の起債の償還があります。

現在、この特別会計でもつとる基金は1億数千万はもつとりますけれども、今の現状ですと、4億くらいは足りん状況が発生するんじゃないかということで、その不足分の対応をどうするかいうことを、新年度に入りました早い時期に、全体的な計画とか、

償還金をどうするかということについての、我々の考えをお示ししますので、そのときにまた説明させていただきたいというように思います。

以上です。

○議長（上田 正君） ほかにありませんか。

（「なし」の声あり）

これで質疑を終わります。

これから討論を行います。

討論はありませんか。

（「なし」の声あり）

討論なしと認めます。

これより、議案第43号「平成22年度江田島市地域開発事業特別会計補正予算（第1号）」を、起立により採決します。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の諸君の起立を求めます。

（賛成者起立）

起立多数であります。

よって、本案は、原案のとおり可決されました。

日程第12 議案第44号

○議長（上田 正君） 日程第12、議案第44号「平成22年度江田島市宿泊施設事業特別会計補正予算（第3号）」を、議題とします。

この際、議案の朗読は省略いたします。

直ちに、提出者から提案理由の説明を求めます。

田中市長。

○市長（田中達美君） ただいま上程されました議案第44号「平成22年度江田島市宿泊施設事業特別会計補正予算（第3号）」でございます。

平成22年度江田島市の宿泊施設事業特別会計補正予算（第3号）は、次に定めるところによる。

歳入歳出予算の補正、第1条 歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ39万3,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ9,715万9,000円とする。

第2項 歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、「第1表 歳入歳出予算補正」による。

繰越明許費、第2条 地方自治法第213条第1項の規定により、翌年度に繰り越して使用することができる経費は、「第2表 繰越明許費」による。

内容につきましては、産業部長をして説明申し上げます。

よろしく願いいたします。

○議長（上田 正君） 瀬戸本産業部長。

○産業部長（瀬戸本三郎君） 議案第44号、江田島市宿泊施設事業特別会計補正予

算（第3号）について説明します。

このたびの補正は、前年度繰越金の確定により、新たに科目を設定し、計上するものです。

次ページをお開きください。

前年度繰越金として39万3,000円を計上しております。

歳出は、予備費に計上しております。

続きまして、繰越明許費についてご説明します。

これは、先にきめ細かな臨時交付金の事業による繰越金で3,423万円を繰越明許費として計上します。

以上で説明を終わります。

○議長（上田 正君） これをもって、提案理由の説明を終わります。

これから質疑を行います。

質疑はありませんか。

大石議員。

○5番（大石秀昭君） 39万3,000円追加したということで、何のために追加されたのか教えてください。

ただ追加したいうだけではわかりません。

○議長（上田 正君） 瀬戸本産業部長。

○産業部長（瀬戸本三郎君） これは、前年度繰越金の確定によって計上するものです。

○議長（上田 正君） ほかにありませんか。

（「なし」の声あり）

質疑なしと認めます。

これから討論を行います。

討論はありませんか。

（「なし」の声あり）

討論なしと認めます。

これから、議案第44号「平成22年度江田島市宿泊施設事業特別会計補正予算（第3号）」を、起立により採決します。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の諸君の起立を求めます。

（賛成者起立）

起立多数であります。

よって、本案は、原案のとおり可決されました。

日程第13 議案第45号

○議長（上田 正君） 日程第13、議案第45号「平成22年度江田島市公共下水道事業（能美地区）会計補正予算（第5号）」を、議題とします。

この際、議案の朗読は省略いたします。

直ちに、提出者から提案理由の説明を求めます。

田中市長。

○市長（田中達美君） ただいま上程されました議案第45号「平成22年度江田島市公共下水道事業（能美地区）会計補正予算（第5号）」でございます。

内容につきましては、土木建築部長をして説明申し上げます。

よろしくお願いたします。

○議長（上田 正君） 幸野土木建築部長。

○土木建築部長（幸野 潔君） 議案第45号について説明いたします。

予算書の1ページでございます。

第1条 平成22年度江田島市公共下水道事業（能美地区）会計の補正予算（第5号）は、次に定めるところによる。

第2条で、予算第3条に定めた収益収支の予定額を次のとおり補正する。

収入につきまして、第1款第1項営業収益を900万7,000円減額、第2項営業外収益を824万6,000円減額補正し、これに伴い第1款下水道事業収益を補正後、2億4,111万3,000円に、支出について、第1款第1項営業費用を1,726万8,000円減額補正し、これに伴い第1款下水道事業費用を補正後2億4,058万9,000円とするものでございます。

第3条 予算第4条の資本的収支におきまして、収入について第1款第1項企業債を230万円減額、第2項国庫補助金を335万円減額、第3項負担金を10万円減額補正し、これに伴い、第1款資本的収入を補正後1億1,150万8,000円とするものでございます。

支出について、第1款第1項建設改良費を170万円減額補正し、これに伴い、第1款資本的支出を補正後2億311万円とします。

ここで収入と支出の差分が405万円となりますので、第3条の一行目から2行目のとおり、資本的収入額が資本的支出額に不足する額8,755万2,000円を、9,160万2,000円に補正します。

次に、この収支不足分の処理をしまして、昨年度の決算数値確定による過年度消費税還付金と、過年度の減価償却費関係の留保資金、これを満額充当することとしまして、過年度分消費税関係収支調整額を117万8,000円から133万2,000円に、15万4,000円増額、過年度の減価償却費関係の留保資金、これを1,208万5,000円から1,639万4,000円に430万9,000円増額。結果としまして、当年度の減価償却費関係の留保資金を7,428万9,000円から7,387万6,000円に、41万3,000円減額補正します。

次ページ、2ページをお願いします。

第4条として、予算第5条に定めた企業債の限度額を2,130万円に減額補正します。

次に、第5条 予算第7条に定めた職員給与費を420万円減額し、補正後2,247万1,000円に減額補正します。

次に、第6条 予算第8条に定めた一般会計補助金を824万9,000円減額し、

補正後 3, 749万5, 000円に減額補正します。

内容につきましては、まずは6ページを開いていただきまして、給与費明細書でございます。

当該会計に従事します職員は、表の左から2列目の職員数のとおり、当初3名でありましたが、年度途中で職員1名の退職があり、2名となり、給与費等が減となっております。

次に、右ページの7ページをごらんください。

収益的収支の内訳書で、まず下段の支出の表をごらんください。

1番下の報償費につきましては、分担金の一括納付が見込みよりも多かったことから、前納報償金が増額となりましたが、入札執行残や先ほど説明しました職員退職に伴い給与費等を減額し、合計としまして1, 726万8, 000円の減額でございます。

次に、上段の収入の表をごらんください。

表の中ほどあたりの滞納者への督促手数料やその他預金利息が増額となりましたが、また、支出の減額に伴いまして、一般会計からの負担金や一般会計補助金を減額し、収支調整しております。

次に次ページ、8ページをごらんください。

こちらは資本的収支の内訳書でございますが、まずは上段の収入の表をごらんいただき、中ほどの国からの補助金が増額となりまして工事料を減とし、下水道企業債等を減額補正します。

ただし、受益者分担金につきましては一括納付が見込みよりも多かったことから、増額となりました。

支出は、下段の表のとおり、工事量を減としたことにより、建設改良費を減額しております。

最後に5ページをお願いします。

これは資金計画の表でございます。

これを本年度の資金収支、キャッシュの状況を見るものでございますけれども、この資金計画書で、2の事業収益と5の一般会計負担金の額の行を間違えて計上しております。これにつきましては、開会前机の上にお配りしたとおりの4枚ものの資料をちょっと見ていただけますでしょうか。

これの3ページ目でございます。

3ページ目の上がこの度誤って今予算書につけております表でございますが、このうちの2の事業収益とこの一般会計の負担金を下のように修正させていただきました。

この間違いが、補正予算の1号からずっと間違えておりまして、1枚目に戻っていただきますと、まず最初に、補正第1号というのは、8月20日の第4回の臨時市議会での提出した資料の差し替えをお願いしたいと思います。それと、次補正第2号、これは9月の第5回の定例会のときの資料でございます。補正第3号が、11月の第6回の臨時市議会。それから補正第4号が、12月定例の第7回の定例会の資料も差し替えをお願いしたいと思います。

どうも申しわけありませんでした。

以上で説明を終わります。

○議長（上田 正君） これをもって、提案理由の説明を終わります。

これから質疑を行います。

質疑はありませんか。

山木議員。

○17番（山木信勝君） いまの訂正ですが、これはもう知とってそのままやろうかと、これら指摘せんにややりかえんようなことじゃ困るんでね。やっぱり正直に、誤つとるんは誤つとるんで今後とも出してもらいたいと思います。

よろしくお願いします。

○議長（上田 正君） ほかにありませんか。

（「なし」の声あり）

質疑なしと認めます。

これから討論を行います。

討論はありませんか。

（「なし」の声あり）

討論なしと認めます。

これから、議案第45号「平成22年度江田島市公共下水道事業（能美地区）会計補正予算（第5号）」を、起立により採決します。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の諸君の起立を求めます。

（賛成者起立）

起立多数であります。

よって、本案は、原案のとおり可決されました。

日程第14 議案第46号

○議長（上田 正君） 日程第14、議案第46号「平成22年度江田島市交通船事業会計補正予算（第4号）」を、議題といたします。

この際、議案の朗読は省略いたします。

直ちに、提出者から提案理由の説明を求めます。

田中市長。

○市長（田中達美君） ただいま上程されました議案第46号「平成22年度江田島市交通船事業会計補正予算（第4号）」でございます。

内容につきましては、企業局長をして説明申し上げます。

よろしくお願いいたします。

○議長（上田 正君） 今宮企業局長。

○企業局長（今宮正志君） 1ページをお願いいたします。

議案第46号、平成22年度江田島市交通船事業会計補正予算（第4号）について説明いたします。

第1条 平成22年度江田島市交通船事業会計補正予算（第4号）は、次に定める

ところによる。

第2条 平成22年度江田島市交通事業会計予算第3条に定めた収益的収入及び支出の予定額を次のとおり補正する。

まず収入ですが、第1款汽船事業収入の第2項、営業外収益を506万3,000円の増額補正を行い、第1款汽船事業収益の合計額を4億7,851万2,000円とするものです。

次に支出ですが、第1款汽船事業費用の第2項営業外費用を24万1,000円の増額補正を行い、第1款汽船事業費用の合計額を、5億6,236万5,000円とするものです。

今回の主な補正内容は、国の地域公共交通活性化再生総合事業に基づく、実証運航に係る補助と、低炭素化促進事業に係る補助額の確定に伴うものです。

実施計画は3ページに、資金計画及び費目別内訳は、4ページ、5ページに明記してあるとおりです。

以上で説明を終わります。

○議長（上田 正君） これをもって提案理由の説明を終わります。

これから質疑を行います。

質疑はありませんか。

大石議員。

○5番（大石秀昭君） 交通船事業において、油の入札等が行われてきたと思うんですが、その油の入札等で、金額が下がったり上がったりしたことはありませんか。

あればここで変更しなきゃいけないんじゃないですか。

○議長（上田 正君） 今宮企業局長。

○企業局長（今宮正志君） いちおう年間の予算というのは、燃料代で組んでおります。年間の平均値を組んでおりまして、入札によって上がり下がりが当然でございます。予算の範囲の中でやりくりをしております。

以上です。

○議長（上田 正君） 大石議員。

○5番（大石秀昭君） 入札で、年間平均ととるから言われるんですが、今年度の1月ごろですか、入札変更をされたですよね、入札制度が変わって、金額が多少変わってるんでないかと思うんですが、それは年間平均でとったのと同じじゃったですか。

○議長（上田 正君） 今宮企業局長。

○企業局長（今宮正志君） 燃料の入札、制度というのはおかしいんですが、入札しております。

要するにこれにつきましては、その制度が云々というよりも、いわゆる今御承知のとおり原油高で、当然その入札にかかわる、入札指名業者ですか、その値段を勘案しながら入札をしてきますんで、その制度云々というよりも、その今の原油価格の上下落というんですか、その上がり下がりによって入札をしてきていただいております。

○議長（上田 正君） 大石議員。

○5番（大石秀昭君） 最後に言います。

この入札する上において、入札札が一番安い人に行くでしょ、当然。ある業者から聞いたら今の入札制度によって、いくら利益が出るのか、どれだけ安くなって、交通船組合がどれだけ助かるとするのか、いろいろ船員からも不平不満が出ると、そこらをよく精査して、今後にやっていただきたいと思います。

よろしくお願いします。

○議長（上田 正君） ほかにありませんか。

（「なし」の声あり）

質疑なしと認めます。

これで質疑を終わります。

これから討論を行います。

討論はありませんか。

（「なし」の声あり）

討論なしと認めます。

これから、議案第46号「平成22年度江田島市交通船事業会計補正予算（第4号）」を、起立により採決します。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の諸君の起立を求めます。

（賛成者起立）

起立多数であります。

よって、本案は、原案のとおり可決されました。

日程第15 市長施政方針

○議長（上田 正君） 日程第15、「市長施政方針」を行います。

田中市長。

○市長（田中達美君） 平成23年度江田島市当初予算の提出に際しまして、施政方針を述べさせていただきます。

昨年は、世界各地で異常気象による被害が多発する一方で、国内でも局地的な集中豪雨や記録的な猛暑により農林水産業に甚大な被害をもたらした年でありました。

年が明け、民主党政権は大きく揺らいでおりますが、1月に出された国の経済見通しによると、平成22年度の我が国の経済は、秋から足踏み状態ではあるものの、今後は踊り場を脱する動きが進むと見込まれており、国民の景気実感に近い名目成長率も1.1%程度と3年ぶりのプラス成長が見込まれています。

しかしながら、依然として失業率は高水準にあり、雇用情勢は厳しく、景気回復への不透明感はますます増大ししていると言わざるを得ません。

政府は、デフレ脱却と景気の自律的回復に向けた道筋を確かなものとしていくため、「成長と雇用」に重点を置いて経済対策を推進することとし、また、あわせて、補助金の一括交付金などを盛り込んだ「地域主権改革」を進めていくとしております。

地方の多くの自治体は、これまでの大幅な地方交付税の削減に加え、税収の落ち込みや、社会保障関係経費の増加などにより財政状況が疲弊し、大きく打って出るという

ことが困難となっているのが現状でございます。

「地域主権改革」については、国からの十分な財源の移譲が確保され、地域のことは地域が自らの判断と責任で決めることができる、「真の地域主権」を進めていくことが重要となっており、地域も、真剣に取り組んでいかなければならない時期がきているところです。

一方、県では、平成23年度当初予算において、広島県の新たな活力の創出に向けた「チャレンジ実行予算」として、「人づくり」と「新たな経済成長」の重点2分野を中心に「安心な暮らしづくり」、「豊かな地域づくり」の合計4つの政策分野の取り組みを強化していることとしております。

国、県のいずれも、地域の特色ある良い提案や企画に重点的に交付金や補助金が交付される時代となっています。本市においても前例にとらわれず、積極的に新しいアイデアを提案していく必要があると感じているところでございます。

こうした中、平成23年度予算は、私が市長として就任させていただいてから折り返し地点を過ぎ、これまでの課題の整理とさらなる発展を目指す予算となります。

本市の将来像である「自然との共生・都市との交流による『海生交流都市』えたじま」の実現に向けて、引き続き「協働！改革！前進！」をキャッチフレーズに、より積極的に市政を推進してまいります。

江田島市の平成23年度の当初予算の編成に当たりましては、①「行財政改革の着実な推進」と、②「特色あるまちづくりの新たな展開」の2点を大きな柱といたしました。

まず第1に、「行財政改革の着実な推進」でございます。

昨年、本市の施策の根幹を成します「総合計画・実施計画（後期）」と「第2次行財政改革実施計画」、「財政計画」の3計画を策定いたしました。

今回の予算編成に当たっては、この3計画に基づき、新たに「枠配分方式」を導入し、試行段階ではありますが、「行政評価（事業見直し）」を実施して、PDCA（プラン・ドゥー・チェック・アクション）のサイクルをスタートしたところです。

また、組織体制につきましても、さらなるスリム化が求められることから、効率的に事業運営ができる組織の構築に取り組むこととしています。

具体的には、①総務部に「政策推進室」を置き、部局の枠を超えて市長の特命事項の企画・立案・総合調整ができるようにすること、

②総務部危機管理課所管の交通安全施設に関する業務と、産業部農林水産課が所管する漁港管理に関する業務を土木建築部建設課へ移管すること、

③福祉保健部保健医療課所管の国民健康保険税に関する業務を市民生活部税務課へ移管すること、

について新年度から実施してまいります。

この3計画の相互連携により、行財政改革を確実なものとするため、今回は改革の方向性を強く反映した予算としたところでございます。

2点目は「特色あるまちづくりの新たな展開」でございます。

これまで、本市の将来像の実現に向けて「総合計画」に基づいて施策を推進してま

いりましたが、今回の予算では特に「地域産業の振興」の分野に新規事業を多く盛り込み、本市の特色をさらに前面に打ち出すこととしております。

本市の特色である豊かな自然を活かした農業や漁業の振興をさらに推し進めるとともに、地域の人たちとまちづくりについて積極的に考え、活気にあふれたまちづくりを進めることで魅力を創出し、その魅力を積極的に県外へ発信して交流を生む「海生交流都市えたじま」を推進する予算、簡潔に申し上げますと「イメージアップと新たなトライ」の予算であると考えております。

農業では、新品目チャレンジ事業、漁業では、商品開発チャレンジ支援事業、まちづくりでは、花いっぱい推進事業や江田島ファンのネットワークづくり事業など、新しい取り組みを支援していく事業を盛り込んだところです。

この結果、平成23年度江田島市当初予算一般会計の規模は、平成22年度当初と比べ0.1%減の145億4,200万円となり、財政健全化に向けて、「選択と集中」を徹底した予算を編成したところでございます。

歳入を見ますと、税収面では人口減少や不況による市民税の減少により、前年度に比べ1億400万円の減（3.6%の減）、地方交付税は前年度と同額を見込み、国庫支出金は防衛施設周辺整備補助金や循環型社会形成交付金の増により1億9,500万円の大幅増（15.7%の増）となっております。

市債は臨時財政対策債は減少しておりますが、一般公共事業債や過疎対策事業債などの増で前年度に比べ2,400万円の増（1.5%の増）となっております。

歳入不足分についてはこれまで同様、基金の取り崩しを行っておりますが、今回の予算では、財政調整的な基金の取り崩し額は1,200万円にとどめることができ、これにより基金の繰り入れは9,500万円の減（60.2%減）となりました。

また、一般会計におけるプライマリーバランスは黒字となり、23年度末の市債残高は22年度末に比べ3億600万円減少する見込みとなっております。

歳出におきましては、人件費は職員数削減により減少できたものの、合併直後に地域振興基金に積み立てるために借り入れた合併特例債の元金償還開始による公債費の増や、生活保護費などによる扶助費の増により、義務的経費は9,700万円の増（1.3%の増）となりました。

投資的経費については、江田島小学校の新築関係事業は完了しましたが、浄化センターのし尿処理施設更新整備事業や、釣附地区の農地の基盤整備促進事業などにより500万円の増（0.3%の増）となっております。

なお、国の補正予算の「きめ細かな交付金」を活用して平成22年度から切れ目なく事業実施することにより単独建設事業費は抑制しております。

一方、その他経費では、公共下水道事業特別会計・農業集落排水事業特別会計の企業会計への移行に伴い、事務上の変更等がありますが、物件費や維持修繕費の減により全体では減少しております。

特別会計につきましては、老人保健・漁港管理の一般会計への統合、公共下水道事業・農業集落排水事業の企業会計への移行により、全8会計（国民健康保険、後期高齢者医療、介護保険（保険事業勘定）、介護保険（介護サービス事業勘定）、住宅新築資金

等貸付事業、港湾管理、地域開発事業、宿泊施設事業）合わせて、80億1,700万円で、前年度比13.3%の減となりました。

企業会計につきましては、公共下水道事業・農業集落排水事業の企業会計への移行と、公共下水道事業（能美地区）とあわせて下水道事業会計を設置することにより、全3会計（下水道事業、交通船事業、水道事業）全体で、39億8,500万円で、前年度比68.5%の増となりました。

企業会計を含めた総予算規模は、265億4,400万円で、前年度比1.4%の増でございます。

平成23年度の主な事業につきましては、総合計画の7つの主要プロジェクトに基づき説明いたします。

1 「交流と定住のまちづくりプロジェクト」

人口減少に歯止めをかけ、交流定住を促進するため、引き続き移住を体験できる環境の確保や、移住者の定住支援を行うとともに、交流人口の拡大を目指したイベントを実施し、他の市町と連携して広域的な観光ルートの確立を図ります。

古鷹林道・江田島公園の桜や、真道山の千本桜などにテング巣病対策を実施し、江田島市を訪れる人が市の花である桜を満喫できるようにすることでイメージアップを図ります。

公営住宅の計画的な整備を継続するとともに、昨年9月に創設した住宅の改修工事に対する補助制度を活用し、住宅の安全性・耐久性の向上を図り、市内定住環境の改善に努めます。

2 「学びと子育て充実プロジェクト」

特色ある個性豊かな学校づくりのため、能美中学校の新築に向けて設計に着手するとともに、里海学習や、総合型地域スポーツクラブ、児童・生徒の通学に対する支援を継続してまいります。

市民の子育て環境を充実するため、新規事業として安心こども基金事業を実施するとともに、母子家庭の自立を促進するための支援を継続し、子どもを安心して産み育てられるまちづくりを推進します。

3 「3F（フルーツ・フラワー・フィッシュ）を生かした元気づくりプロジェクト」

新規事業として釣附地区に農地を造成し、オリーブを品目とした企業を誘致して、農業振興を図ります。

農地の有効活用と荒廃防止を進めるため、新規事業として新品目へチャレンジする団体等を支援する整地・土地改良などに対する補助制度を創設します。

新たな商品開発にチャレンジする水産関連事業者を支援するため、研究開発やブランド化につなげるための補助制度を新たに創設し、水産振興を図ります。

「つくり育てる漁業」を推進し、漁業の経営安定化を図るため、稚魚の放流やアサリ調査等への補助を実施します。

4 「交通と情報の基盤づくりプロジェクト」

交通ネットワークを形成するため、国道・県道・市道の整備・改良など計画的な道

路整備を行うとともに、港湾の計画的な整備・充実に取り組みます。

江田島市公共交通協議会の協議を踏まえ、「地域公共交通総合連携計画」に掲げた実証実験等を実施し、持続可能な公共交通体系の構築をめざします。

5 「健康・長寿とふれあいのまちづくりプロジェクト」

障害者計画及び障害福祉計画を策定し、障害者施策の総合的なサービス提供基盤の整備に努めるとともに、障害者の自立支援を継続して実施します。

感染症の予防や、生活習慣病の早期発見・予防を図るため、子宮頸がん等のワクチン接種や、働く世代への大腸がん健診を実施します。

老人福祉計画、第4期介護保険事業計画に基づき、高齢者保健福祉事業の総合的な推進と介護保険制度の円滑な実施に取り組みます。

6 「安全・安心と環境共生の島づくりプロジェクト」

災害に強い都市構造の形成を図るため、新規にポンプ場の長寿命化計画を策定し、計画的な都市下水路の維持管理に努めます。

緊急時に備え、平成22年度から実施している防災行政無線デジタル化事業の完了をめざし、総合的な防災体制づくりを推進するとともに、計画的な設備等の更新を行います。

環境基本計画等に基づき総合的・長期的に施策を進めるとともに、新規事業として防犯外灯のLED化や、発泡スチロール処分機の購入補助等を実施し、環境保全を図ります。

7 「みんなで支えあう協働のまちづくりプロジェクト」

市民参加と協働のまちづくりを推進するため、新規事業として花いっぱい推進事業補助金を創設し、まちのイメージアップを図ります。

自治会組織や関係団体に対して活動拠点の施設整備や、活動に対する支援を継続し、まちづくりの体制整備を促進します。

県外へ情報を発信する江田島ファンのネットワークづくりに新たに取り組み、本市の魅力のPRに努めてまいります。

人権意識の啓発・高揚に向けて「江田島市人権教育・啓発指針」に基づき、講演会や研修等の啓発活動や相談活動等を継続して実施します。

その他、県議会議員選挙費、農業委員会委員選挙費等の経費を計上しております。

次に企業会計についてでございます。

まず、下水道事業につきましては、公共下水道事業と農業集落排水事業の企業会計への移行により、持続的・効率的な下水道整備や維持管理に努めるとともに、健全経営をめざしてまいります。

次に、交通船事業につきましては、これまで、市民の方々の御理解と御協力をいただきながら、地域公共交通総合連携計画の実証運航に伴う「料金改定」、「運航形態の変更」などを行ってまいりましたが、燃料の値上がり等から、現在も厳しい経営状況が続いております。

平成23年度においても、引き続き、運航体系の効率的な見直しによる経営の合理化を進め、健全経営に向けて努力してまいります。

最後に水道事業につきましては、「江田島市総合計画」に沿って「安全でおいしい水の安定供給」、「水道施設の整備と水の有効利用」を基本方針として、老朽管更新推進事業を中心に事業を進め、市民生活の向上に努めてまいります。

以上が、江田島市の平成23年度当初予算の概要でございます。

慎重かつ十分な御審議をいただき、適切なる判断をお願いいたします。

以上で私の施政方針を終わります。

○議長（上田 正君）　これで、「市長施政方針」を終わります。

日程第16　議案第4号～日程第27　議案第15号

日程第16、議案第4「平成23年度江田島市一般会計予算」から日程第27、議案第15号「平成23年度江田島市水道事業会計予算」までの12議案を一括議題といたします。

直ちに、提出者から提案理由の説明を求めます。

田中市長。

○市長（田中達美君）　ただいま一括上程されました議案第4号から議案第15号までの平成23年度の各会計の当初予算案についてご説明いたします。

まず、議案第4号「平成23年度江田島市一般会計予算」でございます。

歳入歳出予算の総額を145億4,200万円と定めるものでございます。

先ほど私の施政方針で述べましたものが、この一般会計の当初予算の中に網羅しております。

財政状況は依然として大変厳しい中、行財政改革の着実な推進と、特色あるまちづくりの新たな展開の2点を大きな柱とし、財政健全化に向けて、選択と集中を徹底した予算を編成したところでございます。

市長として就任させていただいてから折り返し地点を過ぎ、これまでの課題の整理とさらなる発展をめざすイメージアップと新たなトライ予算で、内容は、前年度当初予算対比、0.1%の減額となりましたが、昨年に引き続き、協働・改革・前進をキャッチフレーズに積極的に市政を推進してまいります。

以下、議案第5号から議案第12号までは、平成23年度江田島市国民健康保険特別会計予算をはじめとする8つの特別会計予算、議案第13号から第15号までは、平成23年度江田島市下水道事業会計予算をはじめとする3つの企業会計予算の提案でございます。

内容につきましては、これから十分に御審議いただくとともに、なにとぞ適正な御判断、御議決を賜りますよう、よろしくようお願い申し上げまして、提案理由の説明とさせていただきます。

○議長（上田 正君）　これをもって、提案理由の説明を終わります。

お諮りします。

ただいま、一括議題といたしました、議案第4号「平成23年度江田島市一般会計補正予算」から、議案第15号「平成23年度江田島市水道事業会計予算」までの12

議案については、全議員で構成する予算審査特別委員会を設置し、各常任委員会の所管事項別に各分科会へ分割付託し、休会中の審査とすることにしたいと思います。

これに異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

異議なしと認めます。

よって、本12議案は、全議員で構成する予算審査特別委員会を設置し、これに付託して休会中の審査とすることに決定しました。

○議長(上田 正君) お諮りします。

ただいま設置されました予算審査特別委員会の正副委員長の選任については、いかがいたしましょうか。

(「議長一任」の声あり)

議長一任とのことですが、これに御異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

異議なしと認めます。

それでは、議長において、委員長に山根啓志議員、副委員長に住岡淳一議員を指名いたします。

散 会

○議長(上田 正君) 以上で、本日の日程はすべて終了いたしました。

本日はこれにて散会いたします。

なお、明日3月4日から3月16日までの13日間は、予算審査等のため、休会とし、次回は3月17日木曜日一般質問を行いますので、午前10時にご参集をお願いいたします。

本日はご苦労さまでした。

(散会 12時43分)